

一般質問



自由民主党議員団

山口 雅夫 議員

小中学校での  
学校教育について

**問** 戦後70年の節目を迎えたが、記憶の風化は絶対に防がなければならない。本市の小中学生は、戦争史をどのよう

に学んでいるのか。また、後世への記憶の継承をどのようにして図っているのか。

**答** 平和教育の中で資料集等を活用したり、ゲストティーチャーを招き、読み聞かせや体験等による学習を行っている。また、平和展や朗読劇、講演会等により平和を願う心を結集し、次世代に継承する事業を展開している。

**問** 人口減少化時代においても、年間の死亡原因数の第2位に匹敵する件数の人工中絶手術が行われている。特に社

会的責任能力が伴っていない未成年者が問題であると思えるので、倫理観や貞操観念の醸成が重要である。人工中絶手術の現実や命の重さをどのように教育しているのか。

**答** 発達段階に応じて性教育を行っているが、人工中絶手術については、小中学校では学習しない。自然や動物と触れ合う活動を通して命の力強さや失った命は二度と取り戻せないことなど、命の大切さや自他の生命を尊重する態度を育む指導を行っている。



無所属

島野 知洋 議員

スポーツを通じた  
まちづくり

**問** 新総合体育館建設には、十分な論議が前提。そこに市民意見等が反映できるような、考慮はなされるのか。

**答** 候補案に対する市民意見やスポーツ団体等の意見を聞くとともに、財政計画や公共施設維持管理計画との整合を図りながら最終案を決定する。

その後、改めてパブリックコメントを実施する予定。

郷土愛を育む  
義務教育の充実

**問** 郷土愛を育む道德の授業の現状について聞きたい。

**答** 地域の伝統行事や文化に触れることで、郷土を愛する心を持つ児童生徒の育成に努

めている。

また、総合的な学習時間などで、子ども大牟田検定を実施している。

**問** 義務教育における35人以下学級編制の見通しについて聞きたい。

**答** 各学校などから意見を聴取しながら、35人以下学級編制のあり方の検討を進めるとともに、引き続きその早期実現に向けた法整備について、全国都市教育長連絡協議会などの組織を通して、国や県に要望していく。



無所属

城後 徳太郎 議員

世界文化遺産登録後の  
取り組み

**問** 三池港閘門の定期見学、三池港クルージングの開催予定とビジネス化など、新たな展開は。

**答** 三池港は稼働資産であることから閘門の定期見学については厳しい状況。三池港クルージングについては10月、11月に開催を予定している。

定期的に行うには施設管理者と協議を行う必要があり、その上でビジネスとして取り組むことができないかを船舶関係者と協議を進めている。

**問** 新規来訪者増加のための積極的なPRの計画は。

**答** 九州観光推進機構主催の観光素材説明会、相談会へ参画し、旅行会社へのプロモ-

ーション活動を行っている。

あらゆる機会を通してPRを積極的に行い、まずは誘客、そして来訪者が来てよかったと感じていただき、口コミやSNSでの情報拡散などで、さらに来訪者が増加するよう取り組みを進めていきたい。

**再発言** 世界文化遺産登録後、多くの来訪者が来ている今が市のすばらしい魅力を発信する最大のチャンス。

情報は常に新しいものを求められているため、登録からの1年が大事だと思う。